

令和6(2024)年4月1日

令和6(2024)年度入学式

理事長祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、これまで皆さんを励まし、支えてこられた保護者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。

さて、この春の息吹の感じられる良き日に、みなさんは新たな大学生活をスタートします。大学での学びや、友人との時間、更にはサークルや課外活動など、これから始まる様々な体験に胸を膨らませていることでしょう。

神田外語大学の建学の理念「言葉は世界を繋ぐ平和の礎」は、創設者の「二度と戦争を起こさないためには、海外の人たちと心を通わせられる若者を育てなければならない」という強い決意から生まれました。今、世界には、戦争など、自分の意志ではどうにもならない要因で、苦しい生活を強いられ、学びの機会を奪われている同じ世代の若者たちが数多くいます。

ウクライナ出身の12歳の少女、イエバ・スカリエツカさんは、自らの経験を綴った著書で、「それまで戦争は、どこか遠くの出来事でした。突然それが恐怖と絶望の壁となって立ちふさがり、迷子になってしまったように感じました。」と語ります。

未だかつてない不安定な世界情勢ですが、人間が引き起こした問題は人間が解決できます。人は言葉を持ち、話し合い、助け合い、考えることで、文明を発展させてきました。我々の理念にある言葉を通じたコミュニケーションこそがその鍵です。

言葉を学ぶことは、自分と違った世界を知ることです。なぜ、その人はそう考えたのか。そこにどんな背景や価値観があるのか、これらを理解することで、相手に寄り添うことを可能にします。そして、そのコミュニケーションから問題解決の策が生まれるのです。

皆さんには自由があります。思い通りになる時間があります。安心して学べる環境があります。この自由を存分に生かして学び続けてください。更に、恵まれた環境に感謝し、世界のために何が出来るのかを考えてほしいと思います。

またこの大学生活のはじめに、学んだ先の自分をイメージし、なりたい自分になる為の目標を立ててください。ユニクロの柳井社長は20代の頃、一生懸命働いていたのだが、全く成果が出なかったと言います。

30代である本に出会い、目標を持つことの大切さを知り「自分は何がしたいのか？」と問いかけ、逆算して目標を立てたことによって、全世界に店舗を広げる現在のユニクロへ繋がったそうです。

だからこそ皆さんには、漫然と頑張るのではなく、目標をもっていただきたい。小さな目標から一つ一つクリアして行くことで、自信が生まれます。この繰り返しが必要な目標達成への近道です。

神田外語大学は、世界各地から招聘した素晴らしい先生方やスタッフが集まり、みなさんを全力でサポートする体制を整えています。更に授業外でも、楽しく学び続けられる SALC や MULC、図書館など充実した教育環境があります。積極的にこれらの施設を利用してください。皆さんには、学び続け、考え続ける「ライフロングラーナー(生涯学習者)」としての精神を持って欲しいと願っています。

先ほどのイエバさんは、イギリスに亡命し、ようやく学校に通えるようになったそうです。そして将来は、たくさん勉強して「どうしたら戦争を止められるのか

を考えたい」と新しい夢に向かっているそうです。

最後に、皆さんが充実した素晴らしい大学生活を送られることに大いに期待し、私からの祝辞とさせていただきます。

本日は、ご入学おめでとうございます。

学校法人佐野学園 神田外語大学
理事長 佐野元泰